



研究構想図

社会の要請

- 笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育ててほしい。

本校の教育目標

- ◎ 未来を切り拓くこどもと
友達を大切にすることも
運動で体をきたえるこども
ほ 本気で学ぶこども
よ よく聞き話せるこども

地域や家庭の願い

- 地域や家庭の人々との交流を通して、自ら考え、判断し、行動できる力を高めてほしい。

児童の実態

- ICT機器を活用し、最後まで課題に粘り強く取り組む力が伸びた児童が多い。
- 対話的な学びを通して自分の考えを再構築できたという実感が伴っていない児童がいる。
- 他者との交流のよさの実感が伴っていない児童がいる。

教員の願い

- 児童が得意なことを見付け、力を発揮してほしい。
- 失敗を恐れずに新たなことに挑戦してほしい。
- 地域とのつながりの中で学んでほしい。
- 体験する楽しさや、伝える面白さを感じてほしい。

研究主題

未来を切り拓く力の育成 ～教科担任制を生かして～

目指すこども像

もち味を生かして挑戦するこども

研究主題設定の理由

本校では、児童が豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手となることを目指している。そのために、知・徳・体の学校の教育目標「とうほよ」の上位目標として、令和6年度より「未来を切り拓くこども」を新たに掲げた。これは、児童が、変化の激しい未来社会を主体的に生きていくために必要な資質・能力を育成するためである。本研究は、この学校の教育目標を実現するための取組である。そこで本研究では、教育目標の実現の中核としたい大田区独自の教科「おおたの未来づくり」の授業研究を通して研究主題に迫ることとした。

さらに、本校の特色ある教育活動を支える小学校教科担任制を通して、教科の専門性を生かした質の高い授業を行い、多面的・多角的な児童理解の促進を図り、複数の教員で学級を見守ることによる学級の安定化を図る取組を生かして本研究を推進したいと考え、副題を設定した。

以上より、本研究主題を「未来を切り拓く力の育成 ～教科担任制を生かして～」とした。

目指すこども像設定の理由

「未来を切り拓く力」をよりイメージしやすくするために、目指すこども像を設定した。本校の教員が話し合い、「得意なことを生かしてほしい」、「失敗をおそれずに挑戦する姿勢を育みたい」、「自己肯定感を高めたい」、「なりたい自分を見付けられるようにしたい」などの意見が出され、「もち味を生かして挑戦するこども」というこども像を設定した。自分や他者のよさを生かして主体的に取り組もうとする態度を身に付けさせたいという願いを込めた。

おおたの未来づくり

大田区教育委員会事務局指導課指導主事の皆様に年間を通して御指導・御助言いただくことで、教科「おおたの未来づくり」の授業づくりを行う。

指導・助言

活用

教科担任制

第5学年及び第6学年で実施し、指導の専門性に根差した質の高い授業を行い、複数の教員でこどもを見守ることで、こどもがどのように変容するのかを明らかにすることで、小規模校における教科担任制の効果を検証する。

研究仮説

教科担任制を生かし、教科「おおたの未来づくり」を通して、もち味を生かして挑戦する姿の実現を図ることで、本校の教育目標である「未来を切り拓く力」の育成につながるだろう。

研究方法

- 授業研究：全学年・専科による年7回の授業研究
- 児童を対象とした質問紙調査による実態把握及び検証：調査・PR部会による年2回のアンケート